

西南学院大学

図

Seinan Gakuin
University
Library Bulletin

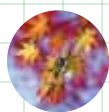
書館報

No. 159
2005. November



せとうちたいこさん デパートいきタイ 作...長野 ヒデ子 発行所...童心社
開架4階909/テ(ミドリ)

Contents



見えない図書館 - 図書館長に就任して -
図書館長 後藤 新治

2

西南大職員から読書のすすめ

3



西南大生 おすすめの本・最近読んだ本

4・5

2004年度図書館利用統計

5



使ってみよう!シリーズ(3)
ILL(相互貸借)サービス

6・7

インフォメーション/編集後記

8

見えない図書館

- 図書館長に就任して -

いまから30年以上も前の話です。当時わたしは大学で研究生を続けながら、北九州市立美術館開設準備室の嘱託として働いていました。ある時、美術館の設計者である建築家磯崎新氏とお会いする機会がありました。工事現場をヘルメット姿で回りながら、ここぞとばかりにわたしは磯崎氏に尋ねました。「この奇抜な美術館設計の意図はなんですか。」すると氏は少し考えた後こう答えてくれました。「美術館はあなたがた学芸員の頭の中にあるのです。」わたしは虚をつかれ、うろたえたまま何も言えなくなったのをいまでも覚えてます。

「学芸員の頭の中にある美術館」とはおかしなことを言うものだと思います。磯崎氏が言われたことを身をもって理解できたのはだいぶ後になってからです。つまり、その組織を中心的に担う人びとの日々の研究活動と想像力のなかでたえず生まれ変わっては成長を遂げていく生き物としての美術館。「見える美術館」の背後に潜むこの「見えない美術館」こそ真に追求すべきものであることをわたしはそのときの対話から学びました。図書館についても同じことが言えるのではないのでしょうか。「見える図書館」は「見えない図書館」を考えることによってはるかに刺激的なものとなるように思えます。

アルゼンチンの作家ホルヘ・ルイス・ボルヘスに「**パベルの図書館**」(1941、『伝奇集』所収)という短篇があります。ボルヘスにとって図書館とは宇宙の隠喩です。「図書館はその正確な中心が任意の六角形であり、その周囲には到達しえないところの一個の天体である」と述べていますが、「図書館は無限でしかも周期的である」がゆえにその全貌を見ることは不可能なのです。すべての本は二十数文字のアルファベット、ピリオド、コンマといった同じ要素からできていながら、広大な図書館に同じ本は二冊とない、とも語っています。また「どこかの棚に、残りのすべてに対する完全な概要である本が存在するにちがいない」という箇所は、今日のOPAC検索画面を映し出すモニターのことを予言していたと解釈することも可能です。ボルヘスの「見えない図書館」は現実の図書館を考察するうえでたいへん示唆に富んでいます。

フランスの作家アンドレ・マルローの『**空想の美術館**』(1948、邦訳では『東西美術論1』)のアイデアも「見えない図書館」を考える際にたいへん役立ちます。このなかでマルローは、美術館という場に集められた芸術作品が、もとあった場所から新しい空間の中に移され、展示されることで、かえって時間を超越した生命を獲得すると説いています。そのため彼は、写真による複製図版が決定的な役割を演じる紙上の「空想の美術館」を提唱しました。写真は、本来接

図書館長 後藤 新治



近し得ぬはずの作品同士の比較を可能にし、肉眼では捉えにくい作品の予期せぬ相貌を明らかにします。もちろんこの考えには様々な立場から批判もありましたが、対象の断片化や組合せを通して現実にはあり得ない理想の美術館を虚構するという誘惑は、そのまま「見えない図書館」の欲望でもあったわけです。

フランスの哲学者ミシェル・フーコーがフロベールの小説を論じた『**幻想の図書館**』(1967)こそ「見えない図書館」のために書かれた公式ガイドブック(その割にはちょっと難解ですが)とも呼べるものです。「想像的なものは、現実的なものに対立するものとして形成され、これを否定し、あるいは補足しようというのではない。それは無数の記号のあいだで、書物から書物へと、くり返される言葉と解説の間隙をぬうようにして、広がってゆく。それは、テキストとテキストのあわいで生まれ、成長する。それは図書館の現象なのだ。彼によれば、書物から書物へと受け継がれ、テキストとテキストの間で生まれる想像的な「見えない図書館」こそ、まぎれもない「図書館の現象」なのです。しかしここは同時にエクリチュールの無限に開かれた歴史に対して抜き差しならぬ関係を読者に強いる修羅場でもあるため、「幻想の」図書館は、火につつまれている」ともフーコーは述べています。「見えない図書館」とはじつに危険きわまりない場所なのです。

今回は残念ながら、電子図書館のネットワークとしての「見えない図書館」や、大学博物館(ドージャー記念館)とリンクして拡大する大学図書館の「見えない図書館」としての可能性については触れることができませんでした。

「見えない図書館」とは、あなたをそそのかし、妄想をかき立て、奇想を生み出し、うまくいけばとてつもない幻想を実現させ、まちがえば抜け出ることのできない迷宮に誘い込む、わたしたちの無意識の中に広がる記憶の場なのかも知れません。わたしは館長就任に当たり、みなさんに現実の「見える図書館」を前に、あるいはその中で、いつもこの「見えない図書館」のことを夢想し続けて欲しいと思っています。(文学部国際文化学科教授・美術史)

このページで紹介された図書

ホルヘ・ルイス・ボルヘス/ウラジーミル・ナボコフ著
『ボルヘス；ナボコフ』開架4階908/0/39-81
アンドレ・マルロー著『空想の美術館』開架4階704/5/1-1
ミシェル・フーコー著『幻想の図書館』開架2階135/0/23-2

西南大職員から読書のすすめ

普段、各課のカウンターなどで学生のみなさんとお会いすることの多い職員の方々から、おすすめの本や作家、図書館のことなどを紹介していただきました。

就職課 森政 泰行



「動機」横山秀夫著

社会人になってから、時間がないという言葉を使い訳に本をほとんど読んでいなかった(敬遠していた)。読んで一般的なビジネス書で、勉強にこそなれ、時間を忘れ夢になって読みふける感覚とは程遠かった。そんな時、新婚旅行へ行く直前に空港の書店で偶然手にした本が、この「動機」である。結論から言えばあまりの面白さに読みふけり、危うく「成田離婚」ならぬ「福岡離婚」に発展するところであったことを覚えておかなければなるまい。中でも「逆転の夏」は秀逸。それ以降、横山小説に傾倒し、全作品を読んでみたが、インパクトの面からこの作品をお薦めしたい。またこの本をきっかけに、読書の時間を確保するため仕事の能率が上がったことも白状したい。ON・OFFの切り替えの重要性を教えてくれた本でもある。

教務課 前田 誠史



「人間が生きているというのは複雑なことだ」
「複雑さをつきつめれば単純になるとも言える」
「過ぎた時間は、幻だったと思うことだ」

少々きざで、およそ現実では口にするなどできそうもない台詞が満載。ハードボイルド作家、一方では南北朝・幕末時代を扱った歴史作家としても有名な北方謙三氏の作品は、とにかく人物描写が秀逸で決まって魅力あふれる主人公が登場し、いつしか読む者を作品の世界に誘ってくれます。どこか心が満ち足りない時、決まって読みふけり、その余韻を楽しんでいます。「この主人公のように立ち振る舞えたらどんなにカッコイイだろう」と。読書は、そんな日常で叶えられない心理的部分を埋めてくれることもあるのではないのでしょうか。みなさんも、ぜひ一度、同氏の『男論』に触れてみてはいかがでしょうか。

就職課 渋谷 昭典



幼少より昔話が好きだったせいか、柳田國男氏の『遠野物語』や、松谷みよ子氏の『現代民話考』は、いつ読み返しても夢中になってしまいます。そうした物語の世界から、いつしか民俗学に興味を持つようになりました。赤坂憲雄氏の『山野河海まんだら』では山形県内各地の寒村での人々の暮らしをクローズアップしています。宮本常一氏の『忘れられた日本人』では対馬の漁村など日本各地の古老からの聞き語りで紹介されています。江波戸哲夫氏の『田中角栄を生んだムラ 西山町物語』では、ただ角栄氏の生家があるというだけの、それ以外は何もない、新潟県の過疎のムラに生きる人々の哀歓を伴う人生が綴られています。いつの日か、彼の地を訪ねたいですね。

学生課 大熊 光洋



今回、私がおススメする本は星新一のショートショートです。ショートショートとは一つ一つが非常に短い短編のことであり、最も短い短編はほんの数行で構成されているようなものもあります。そんなに短い文章でちゃんとした内容になっているの!?と思われる方も多いかもかもしれません。しかし、これでなかなかショートショートの世界は奥が深いのです。ユニークかつユーモアに溢れる内容で読む人を空想世界に誘い込みながらも、所々に鋭い現実社会の批評がなされています。夢のある内容でありながら現実社会を見つめ直すきっかけとなる。どうです?こんな本ってなかなかないでしょう?さあ、後は実際に読んでみて実感するのみです!

就職課 衛藤 亜依子



私が心に残るいいな、と思う本は、「本当の強さとは?」「やさしさとは?」ということを教えてくださいの本です。今回は2冊紹介したいと思います。

ひとつは「機関車先生」です。戦後の少し落ち着いた頃、声が出せない先生が、島の子どもたちそして大人たちと交流を深めていく物語です。

もうひとつは「塩狩峠」です。自分の命と引き換えに列車事故から乗客を守ったキリスト信者の青年の話であり、実在の人物がモデルになった小説です。信じるものがあることから生まれる強さを教えてもらいました。

いつもの生活とは違う世界を覗くことができるのが本の魅力だと思います。普段知ることができないこと、学べないことをたくさん教えてもらっています。

図書館 井川 まどか



こんにちは。本学には図書館をあまり利用されない方も、本に馴染みがない方も多くいらっしゃいます。書籍といっても雑誌・新聞・写真集・エッセイ・絵本・小説・楽譜・実用書など、読者のニーズに合ったものが沢山あります。その他にも最新DVDやVHS・CD・LDの視聴も出来ますので、気軽に図書館に来てみてください。

図書館 柴田 優里子



私の好きな絵本と言っても、子供の頃読んだ本ではなく図書館で仕事をするようになって、保育園・幼稚園で読み聞かせをするために、選んだ本をご紹介します。

「なにをたべてきたの?」岸田衞子(文)長野博一(絵)いしんぼうのしろぶたくんが、りんご・メロン・レモン・ぶどうと次々と食べ、最後に石鯨を食べてしまい、ぶくぶくとおなか膨らんでシャボン玉になって出てくるというお話です。児童教育学科の学生さん以外はなかなか絵本を手にとる機会がないかもしれませんが、ちょっと疲れたときに読んでみてはいかがでしょうか?新たな発見があるかも知れません。

もう一冊は、旅行好きの私がおすすめる「憧れのパリ16区の日常」です。旅行を計画したり、行った場所を思い出したり、行かない人は旅行気分を味わってみてはいかがでしょうか。

このページで紹介された図書・作家(一部)

横山秀夫著『動機』 ベストセラー(開架2階) 913/6Y79/2	三浦綾子著『塩狩峠』 開架4階 913/6M10/3(文庫 開架2階095/913/4)
柳田國男著『遠野物語』 開架3階 388/122/2	岸田衞子文、長野博一絵 『なにをたべてきたの?』 開架4階 909/ナ(ミドリ)
松谷みよ子著『現代民話考』 開架3階 88/1/86	島本薫著 『憧れのパリ16区の日常:パリの土質な暮らし』 開架2階 293/5/55
赤坂憲雄著『山野河海まんだら』 開架3階 382/125/1	北方謙三著『明日の静かなる時』 開架4階 913/6K165/10
宮本常一著『忘れられた日本人』 開架3階 380/81/3-10	星新一著『つねならぬ話』開架 F/9H/4
江波戸哲夫著『田中角栄を生んだムラ 西山町物語』 開架2階 214/1/6	星新一著『The capricious robot』 (きまぐれロボットの英語版) 開架4階 837/7/62-22-1
伊集院静著『機関車先生』 ベストセラー(開架2階) 913/6I29/6	

凡例... 商 学部・学科・研究科 (空欄は記載なし)
3 学年

『城』

フランツ・カフカ著 法国 4年

開架4階943/Ka15/4-3
測量士「K」は城に仕事を依頼され、村にやってきますが、いつまでたっても仕事を始めることができません。その後自立を果たせないと、あなた(彼)は自分の存在を証明できますか!?という堅い話は抜きにして、登場人物の行為、発言がおもしろすぎる!!けれどもこの不可解さは現実の世界とそんなにわからないのかもしれない。何度読んででも飽きません。

『トム・ソーヤの冒険』

マーク・トウェイン著 商 3年

開架4階938/Tw/1-6
地図を見ながらトムが冒険をする所を読んでいくと、どんどんイメージがふくらんできて、何回読んででもドキドキします。おすすめです。

『“it”と呼ばれた子』

デイヴ・ペルザー著 経 2年

開架4階936/P36/1
幼児虐待の話でしたが、主人公の子どものつらさがひしひしと伝わってきました。すべての子供が、親に愛されることを願います。

『ダロウェイ夫人』

ヴァージニア・ウルフ著 文 3年

開架4階933/W87/5
読み返すごとにさまざまな発見がある。

『アムリタ 上・下』

吉本ばなな著 法国 1年

開架4階913/6Y91/9
吉本ばななさんらしい人をつかれさせない文章なので、長いですがすぐ読めてしまいます。読みながら、真由ちゃんに自分を投影したり、由男くんのような弟がほしいと思ったり、翔ちゃんのように生きたいと思いました。家族がよりよいながらも自分の生き方を持っている、又は探している話です。アムリタとは「神様が飲む水」という意味だそうです。

『さぶ』

山本周五郎著 人 4年

開架4階913/6Y3/2B-18
生き方を考えさせられました。

『ぼくは勉強ができない』

山田詠美著 文 1年

開架4階913/6Y19/12
生き方の勉強になる。

『風にのってきた メアリー・ポピンズ』

P. L. トラヴァース著 文 2年

開架4階909/3/179-4
不思議な世話がやってきて、子供たちを魔法のようにできごとに出会わせます。とても面白いです。

『やさしく書ける英語論文』『バッテリー』

藤本滋之著 英 4年

開架4階836/5/21
ブラクティカルで分かりやすい、実際の文章で論文の書きかたを示してありよく使われる表現も記載してあり便利。英語専攻の藤本教授の著書なので英専の学生は是非利用しましょう!

あさのあつこ作 佐藤真紀子絵

ベストセラー(開架2階)913/8/3

児童文学なので読みやすいです。

おもしろかったです。まだ続編があるので読みたいと思っています。

『塩狩峠』

三浦綾子著

開架4階913/6M10/3

最後が感動しました。

いろいろな人からすすめられて、最近やっと手にしました。内容は結構たんたんとしたものですが、ひきつけられるものがあって、あつという間に読み終えてしまいました。本当に感動できる1冊なので、おすすめです。

キリスト教徒のお話ですが、作者も有名なキリスト教徒の三浦綾子さんです。作品を通して、人間の一生や命の大切さを感じ深く感動しました。

『安心して食べたい!』

西島基弘著 文 4年

開架3階498/51/32
添加物について詳しく知ることができて自分のためになった。

『心の保育を考える case67』

ラボム編集部編 人 4年

開架3階376/11/188
保育現場で、「困った子」と言われる子どもの事例とその対処法を紹介。「困った子」は誰にとっても「困った子」なのか、子どもの見る目が少し変わった一冊。

『ハリーポッターと不死鳥の騎士団』

J.K.ローリング著 人 4年

ベストセラー(開架2階)933/R78/1-5-1
ハリーの成長や魔法の国での様子がいつもながら楽しめます。

『ひとりずもう』

さくらももこ著 法 3年

ベストセラー(開架2階)914/6Sa6/12
さくらももこファン必見です!!あまりにもおもしろすぎて、一気に読み終えてしまいました。

『新解さんの謎』

赤瀬川原平著 文 3年

ベストセラー(開架2階)914/6A32/3
『新明解国語辞典』のおもしろさについて書かれたエッセイです。笑いがとまらない、私の大好きな一冊です。ベストセラーコーナーにあります。オススメ(^-^)!!

『恋バナ(赤)』

Yoshi著 人 3年

ベストセラー(開架2階)913/6Y85/55

感動しました。

『解夏』

さだまさし著 商 3年

ベストセラー(開架2階)913/6Sa13/2
この本には様々な感動物語がのっており、とても感動し心に残る話だった。

『リスク(神々への反逆)』

ピーター・バーンスタイン著 経 3年

ベストセラー(開架2階)338/15/100
筆者の証券関連会社の長年の実務から書かれた。リスクの歴史を数学、科学などからほり下げています。

『レインマン(RAIN MAN)』

リアノー・フライシャー著 文 3年

開架3階933/F32/3
Extensive Readings(開架4階)837/7/63-14

映画でもあった物語がとても感動します!!!

『Jojo's Story』

Antoinette著 商

Extensive Readings(開架4階)837/7/191

戦争のおはなしです。村の中で1人生きのこってしまったJojoのその後が、とてもせつない一冊です。

『おかげさん』

相田みつを著 文 4年

開架3階728/21/4

文章がとても共感できるものなので!

『中国東北の経済発展: 九州との交流促進をめざして』

(中国語版『中国東北経済発展と日本北部九州』)

小川雄平著 経 院生

開架3階332/22/431.456

日本九州と中国東北が1割経済でたくさん似てる部分がありまして、今後日本企業が中国東北の経済発展に大きな役割があると思います。日本企業と中国東北部の協力のあり方に深く感じました。

『虹』

吉本ばなな著 文 3年

ベストセラー(開架2階)913/6Y91/1

いやされる

「おすすめの本・最近読んだ本」の調査に御協力いただき、ありがとうございました。紙面の都合で全てを掲載することができず、申し訳ございません。

2004年度 図書館利用統計

『1セグ放送教科書』

羽鳥光俊著 **商** 3年

開架2階547/8/7
専門書なのでとても高かったがデジタル放送や1セグ放送についてよくわかった。

『一日暮らし』

水上勉著 **法** 4年

ベストセラー(開架2階)914/6Mi95/6
時代小説でありながら、誰にでも読みやすい作品である。

『ナイフ』

重松清著 **法** 4年

ベストセラー(開架2階)093/913/19
おもしろかったです。

『ノルウェイの森』

村上春樹著 **文** 2年

開架4階913/6Mu43/45-2
今まで読んだ本の中で一番せつない物語。

『人狼城の恐怖』

二階堂黎人著 **法** 3年

ベストセラー(開架2階)913/6N73/1-
4部作で読み終えるのに時間がかかりますが、非常に面白い作品です。今までにないトリックでした。

『フィーヴァー・ドリーム』

ジョージ・R・マーティン著 **文** 4年

ベストセラー(開架2階)933/Ma53/2-
アメリカの船をめぐる小説。吸血鬼と人間の間にいるのは死だけなのか、それとも...という話。恐怖小説のスリルとさわやかな読後感が味わえる小説だと思う。

『竜馬が行く』

司馬遼太郎著 **経** 3年

開架4階913/6Sh15/2-
龍馬が生きた時代を、のびやかに描写されており、読むと坂本龍馬が好きになる！

『インザプール』

奥田英朗著 **経** 3年

ベストセラー(開架2階)913/6O54/8
すごく悩んでいた事があったのですが、この本を読んでスッキリしました。変な本ですが、おもしろいです。

『20代で始める「夢設計図」』

熊谷正寿著 **人** 4年

開架3階498/51/32
将来について真剣に考えました。

『ダーリンの頭の中: 英語と語学』

小栗左多里他著 **文** 1年

開架4階726/1/78
「ダーリンは外国人」の続編のようなもので、とてもおもしろかった。

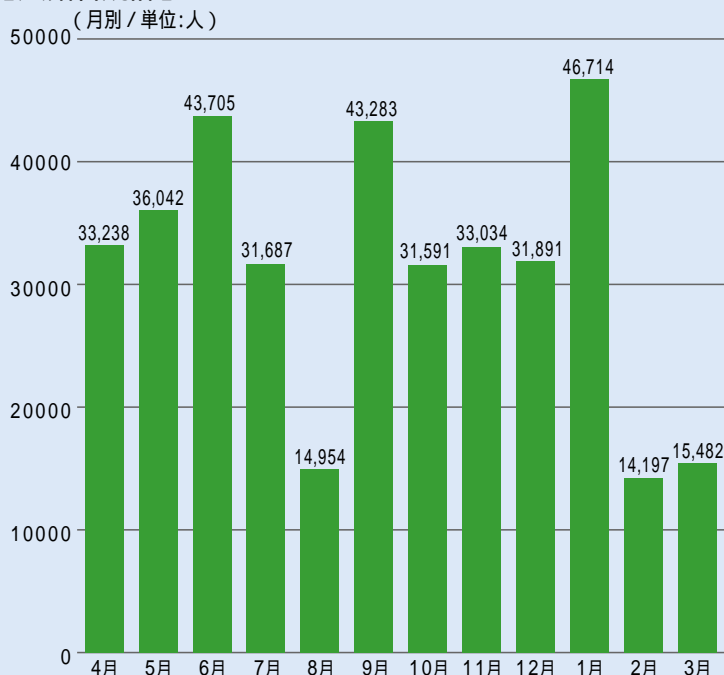
以下は福岡市総合図書館で所蔵
(本学図書館を通じても借りることができます。)

『光とともに...』

戸部けいこ著 **文** 4年

光くんの成長を通して、自閉症児の日常と周囲の人々のサポートの様子を丁寧に書いているコミックです。教師をめざしている方にはぜひおすすめです。

【入館者統計】



【貸出統計】

(月別/単位:冊)

4月	6,373
5月	6,836
6月	8,779
7月	7,444
8月	3,971
9月	9,447
10月	8,476
11月	8,514
12月	9,124
1月	10,088
2月	2,205
3月	1,716
合計	82,973

【貸出統計】

(十進分類別/単位:冊)

000	2,621
100	7,142
200	5,000
300	29,892
400	2,853
500	2,046
600	2,367
700	4,295
800	5,456
900	13,784
その他	7,517
冊数計	82,973
(人数計)	40,940

参考

【開館日統計】

(月別/単位:日)

4月	25(4)
5月	22(5)
6月	26(4)
7月	24(5)
8月	19(3)
9月	23(4)
10月	25(5)
11月	23(3)
12月	21(3)
1月	19(3)
2月	17(2)
3月	26(4)
合計	270(45)

()内数は土曜日

参考

【受入冊数統計】

(月別/単位:日)

図書	和書	13,253
	洋書	5,733
	合計	18,986
製本雑誌	和書	1,343
	洋書	1,616
	合計	2,959
合計	和書	14,596
	洋書	7,349
合計	合計	21,945

【貸出統計】ベスト5

順位	回数	書誌・著者
1	71	賀川豊彦の生涯と思想:キリスト者・社会運動家・平和活動家 河島 幸夫 著
2	68	賀川豊彦と太平洋戦争:戦争・平和・罪責告白 河島 幸夫 著
3	58	Love actually Richard Curtis, photographs by Peter Mountain
4	42	憲法 芦部 信喜 著
5	37	About a boy Nick Hornby;retold by Anne Collins
5	37	A kiss before dying Ira Levin;retold by F.H.Cornish

ILL

(= Inter Library Loan) とは図書館間相互協力という図書館サービスの一つで、自館にない資料を有料で他大学の図書館から取り寄せるサービスです。

ILLサービスには **文献複写取り寄せ** **学外図書借用** の2種類があります。

文献複写取り寄せ ……本学に無い資料のコピーを他大学から取り寄せるサービス。

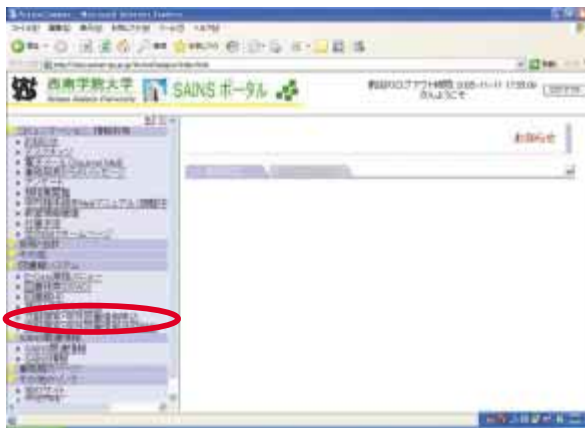
学外図書借用 ……本学に無い資料を他大学から借りるサービス。(現物借用、現物貸借)

下記の申込手順に従って申し込みを行ってください。

1 - A

申込 (ポータルサイトからの申込)

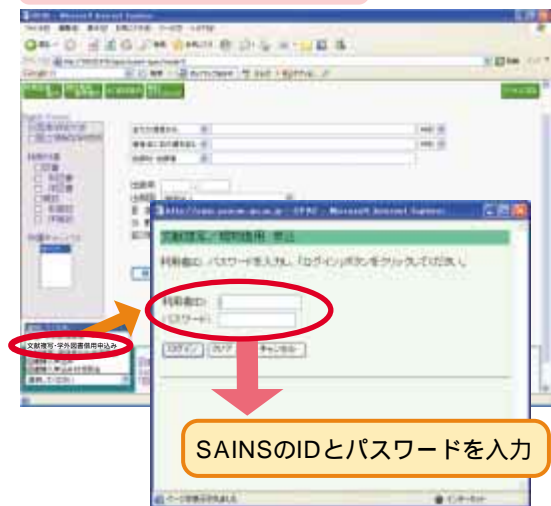
図書館システムの **文献複写・学外図書借用申込** をクリックする。



1 - B

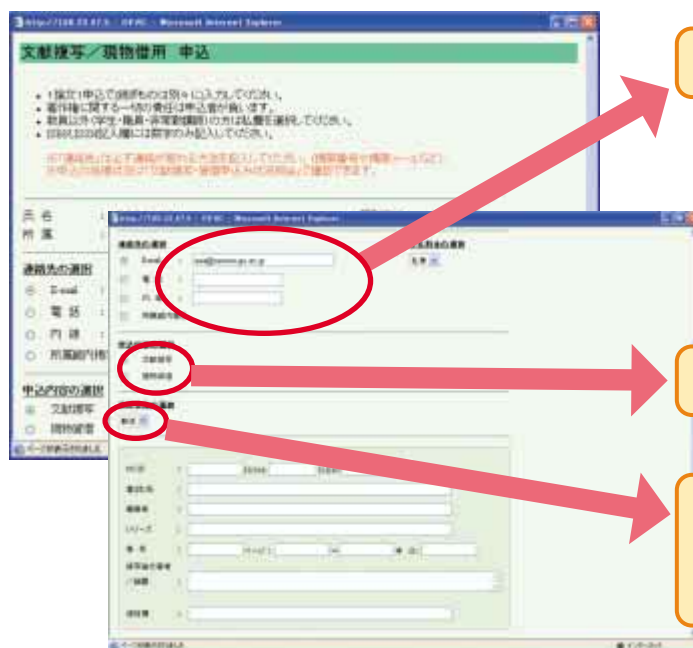
申込 (OPACからの申込)

OPACのリクエストサービスメニューから **文献複写・学外図書借用申込** をクリックする。



2

申込内容の記入 (連絡先・申込種類・送付方法の選択)



連絡先を選択 (初期値はSAINSメールアドレス)

資料到着や申込内容の確認に使用しますので、必ず連絡が取れる連絡先を指定してください。

申込種類(文献複写OR現物貸借)を選択

送付方法の選択:
通常は「郵送」、至急の場合は「速達」可(但し速達料金が必要)、「FAX」は先方により可(但し料金が高い)

3 申込内容の記入 (資料情報を記入)

文献複写取り寄せ申込の場合

学外図書借用申込の場合

4 申込確認

自分が申し込みした内容の状況確認ができます。

申込番号	申込内容	状況	受取窓口	申込日	備註等	手算	通信欄
0001177	文献複写	準備中	図書館	2005.10.24	aa	私費	
00012070	現物貸借	借用中	図書館	2005.10.13		私費	II上総子算
00011738	文献複写	キャンセル	図書館	2005.9.14	中田任恵 演習3分科会報告 赤ちゃんと絵本+ラ、な	私費	
00011739	文献複写	キャンセル	図書館	2005.9.14	内海裕美(子どもと絵本)	私費	
00011729	文献複写	キャンセル	図書館	2005.9.14	たのしん+授業について	私費	
00011457	文献複写	キャンセル	図書館	2005.9.23	mat	私費	

資料到着の連絡が遅い場合や、不明な点がある場合は図書館へお問合せください。

5 資料到着の連絡

資料が到着したら、②で入力した連絡先に図書館から連絡が入ります。連絡を受けたら図書館で早めにお受け取りください。なお、これらのILLサービスは**有料**です。

料金や到着期間等の詳細は <http://www.seinan-gu.ac.jp/library/guide/ill.html> (図書館にない資料の利用)を参照してください。

また、福岡市総合図書館からは**無料**で図書の借用ができます。利用を希望される方は、1階閲覧カウンターへお問い合わせください。(図書情報課 井上裕子)

インフォメーション

INFORMATION

2005年12月～2006年3月の休館日

12月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

1月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

3月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	



12月26日(月) 事務局休業
 12月28日(水)～1月5日(木)
 年末年始休暇
 1月20日(金)～22日(日)
 大学入試センター試験
 2月 8日(水)～14日(火)
 大学入学試験

卒業論文用図書の貸出および卒業年次生の貸出について

卒業年次生は、卒業論文作成に必要な図書を通常の貸出とは別に長期貸出(5冊・30日間/更新1回可)ができます。貸出カウンターで「卒業用」と申し出てください。

卒業年次生は、卒業年度の3月1日以降は図書を借りることはできません。また、貸出中の図書は、2月末日までに必ず返却してください。

卒業生の図書館特別利用について

卒業生は、下記の書類を揃えて1階のカウンターで手続きをすると図書館を利用することができます。

卒業証明書 1通(100円) 教務課で発行
 写真(3cm×2.4cm) 1枚 3ヶ月以内撮影の証明書用写真
 手続料200円 利用期間は最長6ヶ月/更新可

春季休暇期間の長期貸出について

受付開始 1月20日(金)
 返却期限 4月3日(月) 卒業年次生は2月末日
 帯出冊数 5冊以内

図書館報のアンケートについてご報告

前号の図書館報(No.158)から、フルカラー印刷にしましたので、以前のものと比較してどうなのかなどアンケートをお願いしていました。主に出された感想として、「カラーになって内容が見やすく、明るい雰囲気で見やすくなった。また、「手に取った時に読んでみようかなと思うようなカラフルな表紙だったので、今回、初めて読みました」など、カラーになって良かったという回答が多く見られました。

今後は、皆さんからいただきました感想なども取り入れながら、さまざまな企画を検討していきたいと思っています。アンケートへのご協力ありがとうございました。

図書館委員の交替(任期2005.7.1～2006.6.30)

【新任者】	【前任者】
(神学) 松見 俊	松見 俊
(文学) 江崎 義彦	(英文) 藤野 功一
	(フランス語) 西村 牧夫
(人間科学) 賀戸 一郎	(教育福祉) 藤野 力
(国際文化) 岩尾 龍太郎	岩尾 龍太郎
(商学) 平木 真朗	平木 真朗
(経済学) 三宅 伸治	山村 英司
(法学) 釜谷 真史	神宮 典夫
(法科大学院) 沢野 直紀	沢野 直紀

編集後記

今号の主なテーマは「読書」。学生の皆さんが「本」を読みたくなるようにとの思いを込めました。日ごろ図書館をよく利用されている方(学生、職員)からの読書の勧め、図書の紹介の特集です。当図書館で所蔵しているものがほとんどですので、ぜひ、ご一読ください。7月、国民の活字離れを防ぎ、国語力向上を目指して「文字・活字文化振興法」が施行され、読書が奨励されています。学生の皆さんには、「知の宝庫(図書館)を更に活用して頂くことを願っています。(Y・Y)

西南学院大学図書館報

No.159 2005(平成17)年11月28日 発行

編集 館報編集委員会

発行 西南学院大学図書館
 〒814-8511 福岡市早良区西新6丁目2番92号
 TEL(092)823-3426